

医科学

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、医学部各講座

第5学年 前期・後期

講義
 前期 32コマ 42.7時間
 後期 34コマ 45.3時間

教育成果（アウトカム）（講義）

高齢化社会となり、生活習慣病などの増加により動脈硬化性疾患や糖尿病などが増加して疾病構造に変化がみられる。また医科診療では高度先進医療や新しい治療法（薬物療法や非薬物療法）が導入されている。主要内科疾患の病態生理、最新の治療法やガイドランの基本的知識、内科救急対応の基本的知識を習得することで、このような高齢化社会に対応できる歯科医師が養成される。また、心臓血管外科、頸動脈内膜剥離術、肝臓移植など外科系手術の概要と腎臓透析、骨粗しょう症、皮膚疾患、眼科疾患、周産期医療など口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、災害時の医療や個人認識、EBM とガイドラインやクリティカルパスなど最新の情報についても理解することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。

事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程（4限：13時～14時20分、5限：14時30分～15時50分）

【講義室：歯学部4階第2講義室】

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s)	口腔医学キーワード
4月19日 (火) 4限	千葉俊美 教授	1. 身体所見 とリスク 評価と内 科救急疾 患と主要 徴候		歯科診療時に全身状態を把握し、内科疾患と症候の理解。特に緊急性の高い疾患について理解する。	以下の所見と症候の発現機序を説明し、代表的疾患を列挙できる。 1. バイタルサイン(体温、脈拍、血圧、呼吸)の原理と測定 2. 胸痛、ショック 3. 頭痛、意識障害 4. 呼吸困難、出血	バイタルサイン(体温、脈拍、血圧、呼吸)、眼瞼結膜、眼球結膜、口唇チアノーゼ、狭心症、心筋梗塞、自然気胸、脳梗塞、脳出血、過換気症候群、喘息発作
4月19日 (火) 5限	神経内科・ 老年科分野 石橋靖宏 講師	2. 脳血管障害	ユニット2 高齢者	口腔(歯科)診療を行う上で必要な脳血管の病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 脳血管の解剖と機能 2. 代表的な脳血管疾患	Broca 中枢、 Wernicke 中枢、脳血管障害(脳梗塞、脳出血)
4月26日 (火) 4限	千葉俊美 教授	3. 先天性心 疾患と感 染性心内 膜炎と予 防	ユニット3 歯科診療に影 響する疾患	口腔(歯科)診療を行う上で必要な先天性心疾患と感染性心内膜炎の病態と予防を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 先天性心疾患の主要な病態、症候、診断 2. 感染性心内膜炎の主要な病態、症候、診断 3. 感染性心内膜炎予防のためのガイドライン	先天性心疾患、 Fallot 四徴症、チアノーゼ、感染性心内膜炎、レンサ球菌感染症、敗血症、弁膜症、抗菌薬
4月26日 (火) 5限	千葉俊美 教授	4. 高血圧症	ユニット3 歯科診療に影 響する疾患 ユニット4 高齢者	口腔(歯科)診療を行う上で必要な高血圧症の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 高血圧症の病態、症候、診断 2. 高血圧症の治療ガイドライン 3. 高血圧症例での歯科治療の留意点	本態性高血圧症、 二次性高血圧症、降 圧薬

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
5月10日 (火) 4限	千葉俊美 教授	5. 虚血性心 疾患	ユニット3 歯科診療に影響する疾患 ユニット4 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な虚血性心疾患の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 虚血性心疾患の病態、症候、診断 2. 胸痛を訴える患者の対応と鑑別疾患 3. 虚血性心疾患での歯科治療の留意点	狭心症、心筋梗塞症、急性冠症候群、心筋虚血、ST上昇、ST下降、血管内治療、ステント、抗血小板薬
5月10日 (火) 5限	心臓血管 外科学講座 小泉淳一 講師	6. 冠動脈バイパス術、 感染性心 内膜炎と 弁膜症の 外科		冠動脈バイパス術、感染性心内膜炎と弁膜症の主要症候と病態生理、手術方法について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症	冠動脈バイパス術、 オフポンプバイパス 手術(OPCAB)、感染 性心内膜炎 人工弁 ワーファリン
5月17日 (火) 4限	医歯学連携 ビデオ講義 鶴見歯科大 学 濱田良樹 教授ほか	7. 睡眠時無 呼吸	睡眠時無呼吸 医歯学連携ビ デオ講義 (5月2日 実施講義)	口腔（歯科）診療を行う上で必要な睡眠時無呼吸の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 睡眠時無呼吸症候群の病態 2. 終夜睡眠ポリグラフ検査結果 3. 睡眠時無呼吸症候群に対する各種治療法の列挙 4. 口腔内装置の奏効機序と適応基準	いびき、エプワース 眠気尺度、終夜睡眠 ポリグラフ検査 PSG、鼻腔通気試 験、無呼吸低呼吸指 数AHI、閉塞型睡眠 時無呼吸症候群 OSA、口腔内装置 OA、鼻持続陽圧呼吸 nCPAP、口蓋垂軟口 蓋咽頭形成術 UPPP、顎変形症
5月17日 (火) 5限	神経内科・ 老年科分野 鈴木真紗子 助教	8. 神経変性 疾患、その 他の神経 疾患	ユニット4 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な脳神経系の病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 神経系の代表的疾患の病態 2. Parkinson病、認知症	Alzheimer病、脳血 管性認知症、 Parkinson病、一次 性頭痛
5月24日 (火) 4限	千葉俊美 教授	9. 心臓弁膜 症と心不 全	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な心臓弁膜症と心不全の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 弁膜症の主要な病態、症候、診断 2. 心不全の主要な病態、症候、診断 3. 抗凝固療法例での歯科治療	弁膜症、僧房弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、人工弁、左心不全、右心不全、起座呼吸、浮腫、肝腫大、抗凝固療法、ワルファリン
5月24日 (火) 5限	脳神経外科 学講座 小笠原邦昭 教授	10. 脳血管障 害の病態 と外科治 療および 意識障害 (脳死)		口腔（歯科）診療を行う上で必要な脳血管障害の病態と外科治療および意識障害（脳死）について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 脳卒中の病態(脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞) 2. 脳血管障害の外科治療(脳動脈瘤、頸動脈硬化症、内膜剥離術) 3. 意識障害の機構 4. 脳死の判定	脳卒中、脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、心原性脳塞栓症、凝固線溶、抗凝固薬、抗血小板薬、脳動脈瘤、脳動脈瘤クリップ、頸動脈硬化症、内膜剥離術、遷延性植物状態、脳死

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
5月31日 (火) 4限	千葉俊美 教授	11. 呼吸器疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な呼吸器疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 呼吸器の構造、機能、主要な症候、病態 2. 咳、喀痰、呼吸困難 3. 胸部X線、呼吸機能検査などの意義 4. 睡眠時無呼吸症候群の病態	肺機能、気管喘息、肺気腫、肺ガン、慢性閉塞性肺疾患 無呼吸・低呼吸指数 AHI、閉塞型睡眠時無呼吸症候群 OSA
5月31日 (火) 5限	中居賢司 客員教授	12. 不整脈疾患と植込み型電子機器	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な不整脈の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 不整脈疾患の発生機序と病態 2. 歯科治療中の主な不整脈発作の心電図上の特徴 3. ペースメーカー、植込み型除細動器の意義	期外収縮、心房細動、心室頻拍、心室細動、房室ブロック、心臓ペースメーカー、埋込み型除細動器 (ICD)、心臓再同期療法 (CRT)
6月7日 (火) 4限	救急医学講座 井上義博 教授	13. 救急医療	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診療を行う上で必要な救急医療の主要症候と病態等を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 岩手医科大学の救急医療システム 2. 救急医療の現状と対応 3. 頭頸部外傷の現状と対応 4. ドクターヘリの現状	救急医療、救急医療システム、頭頸部外傷、交通外傷、ドクターヘリ
6月7日 (火) 5限	高度救命救急センター 高橋智弘 講師	14. 内科救急へ	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診療を行う上で必要な内科救急の主要症候と病態の理解と対処法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 救急蘇生法（一次救命処置 (BLS)) 説明できる。 2. AED を活用することができる。1. 意識消失した患者の対応と鑑別疾患 3. 呼吸困難を訴える患者の対応と鑑別疾患を列挙できる。	気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ、心室細動、AED
6月14日 (火) 4限	千葉俊美 教授	15. 消化器疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機序と鎮痛・消炎薬 3. ピロリ菌感染症	胃酸分泌機構、消化性潰瘍、消化性潰瘍の発生機序、胃癌、ピロリ菌感染症、アラキドンサンカスケード
6月14日 (火) 5限	中里龍彦 非常勤講師	16. 頭頸部の画像診断と治療への応用		口腔（歯科）診療を行う上で頭頸部腫瘍の画像診断により病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 口腔と周辺臓器の画像解剖 2. 頭頸部腫瘍の画像所見 3. 悪性腫瘍の病期分類 4. 頭頸部領域の Interventional Radiology (IVR)	画像解剖、腫瘍の画像診断、病期分類、IVR

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
6月21日 (火) 4限	消化器内科 肝臓分野 滝川康裕 教授	17. 肝、胆、膵 疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な肝、胆、膵疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価方法 3. ウイルス性肝炎の主要な症候、病態 4. 肝硬変の病態	肝機能、肝障害 ウイルス肝炎（B型およびC型肝炎ウイルス）、肝硬変、肝癌
6月21日 (火) 5限	外科学講座 高原武志 講師	18. 肝臓移植		口腔（歯科）診療を行う上で必要な移植医療-肝臓移植について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 肝臓移植 2. 肝臓移植例での歯科治療	肝臓移植、免疫抑制剤
6月28日 (火) 4限	外科学講座 佐々木章 教授	19. 消化器疾患の低侵襲外科手術、高度肥満症の外科治療		口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器外科と低侵襲外科手術、消化器腫瘍と肥満症について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 消化器外科 2. 低侵襲外科手術 3. 消化器腫瘍 4. 肥満・肥満症 5. 肥満外科手術	消化器外科、内視鏡外科手術 消化器腫瘍、肥満、肥満症、肥満外科手術
6月28日 (火) 5限	国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター 角保徳 教授	20. OCTによる3次元画像		日本発、世界初の製品化を目指し開発中の歯科用OCT画像診断機器について理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 歯科用OCT画像診断機器の構造 2. 歯科用OCT画像診断機器の長所 3. 歯科用OCT画像診断機器の将来性	歯科用OCT画像診断機器、画像化・数値化、歯科健診、新規技術開発
7月5日 (火) 4限	泌尿器科学講座 杉村 淳 講師	21. 泌尿器総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な泌尿器疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 泌尿器の解剖・生理 2. 泌尿器疾患の病態生理・症候 3. 泌尿器疾患での歯科治療の留意点	腎臓、尿管、膀胱、前立腺、腎癌、前立腺癌、膀胱癌、
7月5日 (火) 5限	泌尿器科学講座 阿部貴弥 教授	22. 腎不全とその治療		腎不全病態と治療法について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 急性、慢性腎不全の原因・病態・治療 2. 人工透析と腎移植 3. 人工透析と腎移植例での歯科治療上の留意点	急性、慢性腎不全 人工透析、腎移植、腎性貧血、エリスロポエチン、骨そしょう症、ビタミンD

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
7月12日 (火) 4限	泌尿器科学講座 大森 聡 准教授	23. 男性性器の感染症・尿路結石症、性行為関連感染症		尿路・男性生殖器の感染症、尿路結石症、性行為関連感染症の病態と治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 尿路感染症、性行為関連感染症の病態と治療 2. 腎・尿管・膀胱結石の病態と治療 3. 尿路感染症、腎・尿管・膀胱結石例での歯科治療上の留意点	尿路感染症、性行為関連感染症、腎・尿管・膀胱結石
7月12日 (火) 5限	超高磁場MRI診断・病態研究部門 佐々木真理 教授	24. 超高磁場MRIの現状と臨床応用		口腔（歯科）診療を行う上で必要なMRI画像診断の基礎知識と臨床的意義を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. MRIの原理 2. 脳画像所見 3. 機能的MRI 4. 頭頸部疾患のMRI	MRI、超高磁場、脳画像、機能的MRI、頭頸部疾患
7月19日 (火) 4限	千葉俊美 教授	25. 糖尿病、高脂血症へのアプローチ	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な糖尿病、高脂血症の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 糖代謝の主要な症候、病態 2. 高脂質血症の主要な症候、病態	糖尿病、ランゲルハンス島、経口糖尿病薬、インスリン、低血糖、低血糖症、糖尿病の慢性合併症（網膜症、腎症、神経障害）、易感染性、糖・脂質代謝
7月19日 (火) 5限	呼・ア・膠内科分野 古和田浩子 助教	26. アレルギー疾患へのアプローチ	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要なアレルギー疾患の主要症候と病態、緊急の対応法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーの分類、機序と代表的疾患 2. 気管支喘息の病態 3. アナフィラキシーショックの病態	気管支喘息、アナフィラキシーショック、薬物アレルギー
7月26日 (火) 4限	千葉俊美 教授	27. 内分泌疾患・甲状腺疾患	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な代謝性疾患と甲状腺疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 代謝疾患の主要な症候、病態 2. 甲状腺疾患の主要な症候、病態	甲状腺機能亢進症、バセドウ病、甲状腺機能低下症、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫
7月26日 (火) 5限	外科学講座 佐々木章 教授	28. 内分泌・代謝疾患の外科		口腔（歯科）診療を行う上で必要な内分泌・代謝疾患の外科治療を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 甲状腺の解剖と生理 2. 副甲状腺の解剖と生理 3. 膵臓の解剖と生理 4. 副腎の解剖と生理 5. 甲状腺疾患の外科治療 6. 副腎疾患の外科治療	甲状腺機能亢進症、バセドウ病、甲状腺機能低下症、糖尿病、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
8月23日 (火) 4限	千葉俊美 教授	29. 膠原病疾患と後天性免疫不全症候群	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な代表的な膠原病やHIV感染、AIDSの主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 関節リウマチ、SLE、シェーグレン症候群などの代表的膠原病の症状と合併症 2. HIV感染、AIDSの主要症候 3. ドライマウスの症状および機序	膠原病、リウマチ性疾患、SLE、シェーグレン症候群、HIV感染、AIDS、ドライマウス
8月23日 (火) 5限	整形外科科学 講座 安藤貴信 講師	30. 関節リウマチと外科治療		口腔（歯科）診療を行う上で必要な関節リウマチの病態と外科治療を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 関節炎の概要 2. 関節リウマチの概要と治療	関節炎、関節リウマチ、脊髄障害、開口障害、嚥下障害
9月6日 (火) 4限	千葉俊美 教授	31. 赤血球の疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な赤血球の機能と血液疾患の病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 貧血の症候、病態 2. 鉄欠乏性貧血 3. 再生不良性貧血 4. 悪性貧血 5. Plummer-Vinson 症候群	鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血、巨赤芽球性貧血、悪性貧血 Plummer-Vinson 症候群
9月6日 (火) 5限	血液・腫瘍 内科分野 古和田 周吾 助教	32. 血液疾患と骨髄移植	ユニット3 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な血液疾患の病態と骨髄移植を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 血液細胞の基本的な機能 2. 白血病の主要な症候、病態と歯科治療上の留意点 3. 骨髄移植	白血病、白血球、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、ATL、悪性リンパ腫 骨髄移植
9月13日 (火) 4限	千葉太郎 非常勤講師	36. 心身医学 総論	ユニット5 心身医療と歯科心身症	口腔（歯科）診療を行う上で必要な心身医学的疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 心身症の定義 2. bio-psycho-social medical model 3. 主要な歯科心身症の疾患名、症候、対応	心身症・心身医学 口臭症、舌痛症、顎関節症、口腔異常感症、味覚異常、歯科恐怖症
9月13日 (火) 5限	精神科学 講座 遠藤 仁 助教	34. 精神・神経 疾患総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な精神・神経疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 主な精神症状 2. 統合失調症 3. 歯科に関連する精神障害	精神障害、統合失調症、気分障害。気質的精神障害、躁うつ病

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
9月20日 (火) 4限	千葉俊美 教授	35. 出血性疾患 と抗凝 固・抗血小 板療法	ユニット3 歯科診療に影 響する疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な出血性疾患、凝 固・線溶系 の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 出血傾向をきたす疾 患の概要 2. 特発性血小板減少性 紫斑病 3. 血友病、Von Willebrand 病など 4. 種性血管内凝固症候 群（DIC） 5. 凝固・線溶系の主要な 症候、病態 6. 抗凝固療法や抗血小 板療法	特発性血小板減少性 紫斑病、血友病、播 種性血管内凝固症候 群（DIC）、凝固因子、 拔牙後出血 ワルファリン、アス ピリン、クロピドグ レル、シロスタゾー ル、抗凝固療法、抗 血小板療法
9月20日 (火) 5限	中居恵子 非常勤講師	33. 腎疾患	ユニット3 歯科診療に影 響する疾患 ユニット4 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な腎疾患の主要 症候と病態を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 腎疾患・内分泌の主要 な症候、病態 2. 腎不全・人工透析患者 の主要な症候、病態	腎機能、腎機能障害、 血液透析、腹膜透析、 クレアチニンクリア ランス、タンパク尿、 血尿、尿糖、ケトン 体、尿路感染症、腎 性骨異常栄養症、ビタ ミン D、副腎不全
9月27日 (火) 4限	法医学講座 出羽厚二 教授	37. 法医学総 論・死体現 象		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な法医学・法歯学 を含む法科学の 意義を理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 法医学・法歯学の医 学・歯学における位置 づけ 2. 死因究明制度の概要 3. 死体現象	法医学・法歯学、死 因究明制度
9月27日 (火) 5限	法医学講座 出羽厚二 教授	38. 法医学・歯 科的検死 活動・咬傷		硬組織を対象と した個人識別と 歯科的検死活動 の意義を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 個人識別における歯 科所見の意義 2. 歯科所見における年 齢、性別の推定法 3. 検死における歯科医 の役割 4. 検死時の歯科所見の 取り方	個人識別、歯科的検 死活動
10月4日 (火) 4限	法医学講座 中屋敷徳 准教授	39. 遺伝子多 型・血液型 とDNA多 型		個人識別にとっ て重要な多型現 象、ABO 式血液 型、DNA 多型 の意義を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. ABO 式血液型 2. DNA 多型	個人識別、ABO 式血 液型、DNA 多型
10月4日 (火) 5限	法医学講座 出羽厚二 教授	40. 虐待と歯 科医師の 役割		臨床歯科医によ る社会的活動の あり方を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 虐待 2. 虐待予防における歯 科医師の役割	虐待、虐待発見、虐 待予防

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
10月11日 (火) 4限	外科学講座 大塚幸喜 准教授	41. 麻酔法		口腔（歯科）診療を行う上で必要な局所麻酔と全身麻酔の基本と意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 全身麻酔法 2. 局所麻酔法	全身麻酔法、局所麻酔法、麻酔前投薬
10月11日 (火) 5限	外科学講座 西塚 哲 講師	42. 腫瘍 - 発生、転移、がん遺伝子と化学療法		口腔（歯科）診療を行う上で必要な腫瘍-発生、転移、がん遺伝子の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 腫瘍-発生、転移 2. がん遺伝子・がん抑制遺伝子 3. 悪性腫瘍の症候、病態と診断 4. 抗癌剤の種類と作用機序	腫瘍-発生、転移、がん遺伝子、がん抑制遺伝子、アポトーシス、抗癌剤、分子標的マーカー、悪性腫瘍の症候と病態、抗癌剤、分子標的療法、遺伝子治療
11月1日 (火) 4限	小児科学講座 和田泰格 助教	43. 小児科学総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な小児の成長と発達を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の成長と発達 2. 小児期の疾患の特殊性について	成長、発達 糖尿病
11月1日 (火) 5限	小児科学講座 和田泰格 助教	44. 小児科学総論2		口腔（歯科）診療を行う上で必要な小児科疾患の概要を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の疾患の概要 2. 小児期の疾患の特殊性について	川崎病、先天性心疾患、ネフローゼ症候群
11月8日 (火) 4限	小児科学講座 和田泰格 助教	45. 成長と発達		口腔（歯科）診療を行う上で必要な小児科疾患の概要を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 新生児・小児の疾患について	新生児呼吸窮迫症候群、骨形成不全症、低フォスファターゼ症
11月8日 (火) 5限	整形外科科学講座 村上秀樹 准教授	46. 整形外科科学総論 - 骨粗しょう症		口腔（歯科）診療を行う上で必要な整形外科の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 整形外科的疾患の主要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療（ビスフォスフォネート） 3. 頰椎症性脊髄・神経根症と治療	整形外科的疾患、骨粗しょう症、ビスフォスフォネート、顎骨壊死、頰椎症、脊髄症、神経根症、ロコモティブシンドロームと腰痛疾患
11月15日 (火) 4限	皮膚科学講座 高橋和宏 准教授	47. 皮膚科学総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な皮膚科学の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 皮膚と粘膜の解剖・生理 2. 皮膚疾患と粘膜病変のかかわり 3. 歯科（口腔疾患）と皮膚粘膜の関連性	皮膚と粘膜、皮膚疾患、原発疹と続発疹

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
11月15日 (火) 5限	皮膚科学講座 高橋和宏 准教授	48. 皮膚炎・薬疹		口腔（歯科）診療を行う上で必要な皮膚炎・薬疹の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 湿疹皮膚炎の機序と治療法 2. 口腔粘膜病変を伴う薬疹の種類と治療 3. ページェット病の臨床所見と発症機序および治療	湿疹皮膚炎、薬疹、ページェット病
11月22日 (火) 4限	皮膚科学講座 遠藤幸紀 講師	49. 感染症		歯科診療時に必要な細菌性、ウイルス性、真菌・好酸菌、性行為感染症の種類と発症機序、治療法、予防法を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 細菌性、ウイルス性、真菌・好酸菌、性行為感染症の種類を列挙する 2. 上記感染症の発症機序、治療法、予防法	菌性、ウイルス性、真菌・好酸菌、性行為感染症
11月22日 (火) 5限	産婦人科学講座 永沢崇幸 助教	50. 婦人科学総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な婦人科学の意義を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 女性性器の構造、機能 2. 婦人科良性疾患 3. 婦人科悪性腫瘍の診断と治療	女性生殖器の解剖 子宮筋腫、子宮内膜症 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん
11月29日 (火) 4限	産婦人科学講座 菊池昭彦 教授	51. 産科学総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な産科学の意義を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 妊娠経過 2. 分娩経過 3. 新生児	正常妊娠・異常妊娠 正常分娩・異常分娩 新生児
11月29日 (火) 5限	耳鼻咽喉科学講座 志賀清人 教授	52. 咽喉頭解剖生理と疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な咽喉頭解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 咽喉頭の解剖と生理 2. 嚥下のメカニズム 3. 反回神経麻痺の原因と症状 4. 咽喉頭の疾患の症状と治療	咽喉頭、嚥下のメカニズム、反回神経麻痺、咽喉頭の疾患
12月6日 (火) 4限	耳鼻咽喉科学講座 桑島秀 助教	53. 鼻・副鼻腔解剖生理と疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な鼻・副鼻腔の解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 鼻・副鼻腔の解剖と生理 2. 鼻・副鼻腔の疾患の症状と治療 3. 食道異物、気管支異物に対する検査・治療	鼻・副鼻腔の疾患 食道異物、気管支異物

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
12月6日 (火) 5限	耳鼻咽喉科学講座 平海晴一 准教授	54. 聴覚・平衡解剖生理		口腔（歯科）診療を行う上で必要な聴覚・平衡解剖生理の意義を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚・平衡生理 4. 聴覚検査	側頭骨解剖、伝音機構、内耳、平衡生理、聴覚検査、難聴
12月13日 (火) 4限	千葉俊美 教授	55. 感染症	ユニット11 安全な医療	口腔（歯科）診療を行う上で必要な感染症の主要な症候と病態にと院内感染防止対策方法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 感染症の分類、主要な症候、病態 2. インフルエンザ 3. 院内感染経路および院内感染防止対策	HIV、インフルエンザ、結核、予防接種、新型コロナウイルス(SARS)、新型インフルエンザ、感染経路、パンデミック感染 MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、菌交代現象
12月13日 (火) 5限	眼科学講座 大関尚行 助教	56. 眼科学総論-視覚器の解剖と機能		口腔（歯科）診療を行う上で必要な視覚器の解剖と機能を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 眼球の横断面の構造 2. 眼球と付属器の発生 3. 網膜から視神経、後頭葉に至る視覚伝導路の発生	眼球の構造、網膜視神経、後頭葉
12月20日 (火) 4限	眼科学講座 玉田邦房 助教	57. 歯科・口腔外科領域および全身疾患と眼		口腔（歯科）診療を行う上で必要な歯科・口腔外科疾患および全身疾患による眼合併症を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 口腔、上顎洞、眼窩の解剖学的関係 2. 歯科・口腔外科疾患による眼合併症 3. 口腔内と眼病変を伴う全身疾患の症状、病態と治療	口腔、上顎洞、眼窩、歯科・口腔外科疾患による眼合併症、口腔内と眼病変を伴う全身疾患
12月20日 (火) 5限	眼科学講座 横山大輔 助教	58. 角膜移植と角膜屈折矯正手術、白内障手術		口腔（歯科）診療を行う上で必要な角膜移植と角膜屈折矯正手術、白内障手術の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 角膜移植の適応となる疾患や方法 2. 角膜屈折矯正手術の適応と方法 3. 白内障の種類 4. 白内障手術の適応と方法	眼底出血、角膜移植、白内障手術
1月10日 (火) 4限	医歯学連携授業 阿部晶子 准教授 (予防歯科)	59. 化学療法例の口腔ケア2	医歯学連携講義 (5月23日実施講義)	歯科診療時に必要な化学療法例の口腔ケアを理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 担がん患者の歯科治療上の注意点を説明できる。 2. 免疫不全状態の患者とその歯科治療上の注意点を説明できる。 3. 歯科診療時に注意を要するアレルギー性疾患について説明できる。	抗がん剤、免疫不全、予後・余命、緩和医療 臓器・骨髄移植、免疫抑制剤、癌終末期、膠原病およびリウマチ性疾患、ステロイドホルモン、GVHD 薬物アレルギー、歯科用金属によるアレルギー

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	口腔医学キーワード
1月10日 (火) 5限	臨床検査医学講座 鈴木啓二郎 准教授	60. 輸血検査・輸血療法、GVHD		口腔（歯科）診療を行う上で必要な輸血検査・輸血療法、GVHDを理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 輸血検査・輸血療法 2. GVHD	輸血検査・輸血療法 GVHD
1月17日 (火) 4限	臨床検査医学講座 諏訪部章 教授	61. 臨床検査総論		口腔（歯科）診療を行う上で必要な臨床検査の意義や検査基準値を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 基準値・基準範囲・カットオフ値 2. 感度・特異度、検査後確率、ROC曲線 3. 疾病の予後の推定に関する臨床検査の意義 4. 代表的生化学検査の測定法と基準値、臨床的意義	基準値・基準範囲・カットオフ値、感度・特異度、検査確率、検査後確率、ROC曲線、疾病感の予後推定
1月17日 (火) 5限	臨床検査医学講座 諏訪部章 教授	62. 細菌学的検査		口腔（歯科）診療を行う上で必要な細菌検査を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. グラム染色について 2. 臨床的に問題となる薬剤耐性菌について	グラム染色、薬剤耐性菌
1月24日 (火) 4限	外科学講座 水野大 准教授	63. 医療安全・チーム医療・クリティカルパス		歯科診療時に必要な医療安全、チーム医療、クリティカルパスを理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 医療安全 2. チーム医療 3. クリティカルパス 4. インシデント・アクシデント	医療安全、チーム医療、クリティカルパス、インシデント・アクシデント
1月24日 (火) 5限	祖父江憲治 学長	64. 特別講演 医療人としての心構え				
1月31日 (火) 4限	PET・リニアック先端医療センター 中村隆二 教授	65. PET診療の最新情報		がん診療におけるPETの役割を理解する。	PETの以下の項目について説明ができる。 1. 画像化の原理 2. PETの適応 3. PETの限界	ポジトロン、トレーサ、病期診断
1月31日 (火) 5限	千葉俊美 教授	66. 歯科医師国家試験対策 - 必修・禁忌問題解析		歯科診療時に必要な歯科医師国家試験必修・禁忌問題を理解する。	歯科診療時に必要な歯科医師国家試験必修・禁忌問題を理解する。	

教科書・参考書

書名	著者氏名	発行所	発行年
☆歯科内科 Little and Falace's Dental Management of the Medically Compromised Patient 8th ed. 歯科内科配布資料 内科学 10 版 今日の治療薬：解説と便覧 2016 年版	James W. Little et al. 中居賢司 編集※ 矢崎義雄 総編集 浦部晶夫ほか編	Mosby 朝倉書店 南江堂	2013 年刊行 2013 年 ver4 2013 年 2016 年
☆外科学 標準外科学 14 版	畠山勝義監修 北野正剛ほか編集	医学書院	2016 年
☆法医学 簡明 歯科法医学 法医歯科学 6 版(補訂) 人類遺伝学ノート：ゲノム医学・疾患遺伝子探索研究の基礎 家族のもとへ、あなたを帰す	田島義文 著 山本勝一ほか著 徳永勝士 編 柳原三佳	永末書店 医歯薬出版 南山堂 WAVE 出版	2005 年 2004 年 2007 年 2012 年
☆小児科学 標準小児科学 8 版	内山聖監修	医学書院	2013 年
☆皮膚科学 歯科医のための皮膚科学 2 版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004 年
☆精神科学 現代臨床精神医学 改訂 12 版 ICD-10 精神および行動の障害：DCR 研究用診断基準 新訂版	大熊輝雄 著 WHO 編	金原出版 医学書院	2013 年 2008 年
☆臨床検査医学 最新臨床検査項目辞典 標準臨床検査医学 4 版	伊藤機一ほか編 高木康、山田俊幸 編	医歯薬出版 医学書院	2008 年 2013 年
☆整形外科 標準整形外科 12 版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2014 年
☆産婦人科学講座 標準産科婦人科学 4 版	岡井崇、綾部琢哉 編	医学書院	2011 年
☆耳鼻咽喉科学 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3 版	鈴木淳一、中井義明、平野実 著	医学書院	1997 年
☆眼科学 標準眼科学 13 版	木下茂監修	医学書院	2016 年
☆泌尿器科学 標準泌尿器科学 9 版	並木幹夫ほか編、赤座英之監修	医学書院	2014 年

成績評価方法

定期試験（前期試験 1/2，後期試験 1/2） 100%

*各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施

*実施要綱については別に示す。